

CASBEE-広島 2014年版 (仮称)コンツェルトパーク段原伍番館			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)							
スコアシート 実施設計段階												
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体			
					評価点	重み係数	評価点	重み係数				
Q 建築物の環境品質									3.1			
Q1 室内環境						0.40		-	3.2			
1 音環境					2.0	0.15	3.0	1.00	2.8			
1.1 騒音					3.0	0.50	3.0	0.50				
1.2 遮音					1.0	0.50	3.0	0.50				
1 開口部遮音性能					1.0	1.00	3.0	0.30				
2 界壁遮音性能					-	-	3.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	3.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	3.0	0.20				
1.3 吸音					-	-	-	-				
2 温熱環境					2.6	0.35	3.0	1.00	2.9			
2.1 室温制御					3.0	0.50	3.0	1.00				
1 室温					3.0	0.63	-	-				
2 外皮性能					3.0	0.38	3.0	1.00				
3 ゾーン別制御性					-	-	-	-				
2.2 湿度制御					1.0	0.20	-	-				
2.3 空調方式					3.0	0.30	-	-				
3 光・視環境					2.6	0.25	3.8	1.00	3.5			
3.1 昼光利用			昼光率計算による 南、東側に開口部を確保		1.8	0.30	4.6	0.50				
1 昼光率					1.0	0.60	5.0	0.50				
2 方位別開口					-	-	5.0	0.30				
3 昼光利用設備					3.0	0.40	3.0	0.20				
3.2 グレア対策					3.0	0.30	3.0	0.50				
1 昼光制御					3.0	1.00	3.0	1.00				
3.3 照度					3.0	0.15	-	-				
3.4 照明制御					3.0	0.25	-	-				
4 空気質環境							3.2	0.25		3.6	1.00	3.5
4.1 発生源対策					F☆☆☆☆を全面採用		4.0	0.60		4.0	0.63	
1 化学汚染物質			4.0	1.00			4.0	1.00				
2 アスベスト対策			-	-			-	-				
4.2 換気			2.0	0.40			3.0	0.38				
1 換気量			3.0	0.50			3.0	0.33				
2 自然換気性能			-	-			3.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮			1.0	0.50			3.0	0.33				
4.3 運用管理			-	-			-	-				
1 CO ₂ の監視			-	-			-	-				
2 喫煙の制御			-	-			-	-				
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.5			
1 機能性					3.4	0.40	4.4	1.00	4.2			
1.1 機能性・使いやすさ			1Gサービスを採用		3.0	0.40	5.0	0.60				
1 広さ・収納性					-	-	-	-				
2 高度情報通信設備対応					-	-	5.0	1.00				
3 バリアフリー計画					3.0	1.00	-	-				
1.2 心理性・快適性			居室天井高2500mm		4.0	0.30	3.5	0.40				
1 広さ感・景観					-	-	4.0	0.50				
2 リフレッシュスペース					-	-	-	-				
3 内装計画					4.0	1.00	3.0	0.50				
1.3 維持管理			汚れない材料、汚れても拭取りが出来る材料を採用		3.5	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計					4.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保					3.0	0.50	-	-				
3 衛生管理業務					-	-	-	-				
2 耐用性・信頼性					3.0	0.30	-	-	3.0			
2.1 耐震・免震					3.0	0.50	-	-				
1 耐震性					3.0	0.80	-	-				
2 免震・制振性能					3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上材の補修必要間隔					3.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上材の更新必要間隔					3.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-				

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-						
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-						
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-						
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-						
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-						
	3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.1		1.00	3.0			
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	階高2,960mm	-	-	3.2	0.50						
	2	空間の形状・自由さ		-	-	4.0	0.60						
	3.2 荷重のゆとり			-	-	2.0	0.40						
	3.3 設備の更新性			-	-	3.0	0.50						
	1	空調配管の更新性		3.0	1.00	-	-						
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-						
	3	電気配線の更新性		3.0	0.20	-	-						
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-						
	5	設備機器の更新性		3.0	0.10	-	-						
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-						
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-		2.8				
	1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-		1.0				
	2 まちなみ・景観への配慮			景観法に基づきまちなみに調和した外観としている			4.0		0.40	-	-	4.0	
	3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-		3.0				
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-							
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-							
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5						
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0						
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0						
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0						
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.91			4.9	0.50	-	-	4.9			
集合住宅以外の評価(3a.3b)						1.0	-	-	-				
集合住宅の評価(3c)			エコキュート他高効率なシステムを採用			4.9	1.00	-	-				
4 効率的運用						3.5	0.20	-	-	3.5			
集合住宅以外の評価						-	-	-	-				
4.1 モニタリング						-	-	-	-				
4.2 運用管理体制						-	-	-	-				
集合住宅の評価						3.5	1.00	-	-				
4.1 モニタリング						3.0	0.50	-	-				
4.2 運用管理体制			説明をパンフレットに記載			4.0	0.50	-	-				
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	3.3			
1 水資源保護						3.0	0.20	-	-	3.0			
1.1 節水						3.0	0.40	-	-				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-				
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-				
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-				
2 非再生性資源の使用量削減						3.4	0.60	-	-	3.4			
2.1 材料使用量の削減						3.0	0.11	-	-				
2.2 既存建築躯体等の継続使用						3.0	0.22	-	-				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			杭に高炉セメント採用			5.0	0.22	-	-				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用						3.0	0.22	-	-				
2.5 持続可能な森林から産出された木材						-	-	-	-				
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み						3.0	0.22	-	-				
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.3	0.20	-	-	3.3			
3.1 有害物質を含まない材料の使用			F☆☆☆☆を全面採用			4.0	0.30	-	-				
3.2 フロン・ハロンの回避						3.0	0.70	-	-				
1 消火剤						-	-	-	-				
2 発泡剤(断熱材等)						3.0	0.50	-	-				
3 冷媒						3.0	0.50	-	-				
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.1			
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2を低減する材料、システム、工法等を採用			3.7	0.33	-	-	3.7			
2 地域環境への配慮						2.5	0.33	-	-	2.5			
2.1 大気汚染防止						3.0	0.25	-	-				
2.2 温熱環境悪化の改善						2.0	0.50	-	-				
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.2	0.25	-	-				
1 雨水排水負荷低減						3.0	0.25	-	-				
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-				
3 交通負荷抑制			駐車台数を敷地内に満足し、かつ200%近い駐輪場を確保			4.0	0.25	-	-				
4 廃棄物処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-				
3 周辺環境への配慮						3.2	0.33	-	-	3.2			
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-				
1 騒音						3.0	0.33	-	-				
2 振動						3.0	0.33	-	-				
3 悪臭						3.0	0.33	-	-				
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						3.0	0.40	-	-				
1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-				
2 砂塵の抑制						1.0	-	-	-				
3 日照障害の抑制						3.0	0.30	-	-				
3.3 光害の抑制						4.4	0.20	-	-				
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			光害対策ガイドラインの過半を満たす 屋外広告はありません			5.0	0.70	-	-				
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-				